

海況速報

平成10年度 第2号 (通算 No.62)
平成10年7月21日
北海道立水産試験場

内容についての問い合わせは

中央水試海洋部 0135-23-4020

5月下旬～6月上旬の海況

【日本海海域】

津軽海峡西方沖合には前回（4月）と同様に暖水渦（中心：200m層水温4℃以上）が存在し、対馬暖流はこの暖水渦の西側から北海道西岸沖を北上しています。また、この暖水渦の北東側から海峡西口に向かって冷水帯（たとえば100m層水温では6℃以下の範囲）が延びていて、松前小島付近で温度差の大きい前線帯（潮目）を形成しています。100m層で6℃の等温線は留萌西方あたりに北限があることから、対馬暖流の先端もこのあたりまで達したようです。

水温について見ると、北緯45度30分線では、累年平均（*1）に比べ、礼文島より東方で各層約-1.0～-0.5℃の範囲、礼文島北西沖定点では各層約-1.2～-0.5℃となっています。北緯44度30分線上の天売・焼尻島北西沖および北東沖定点では、累年平均に比べ、表面では-1.6～-1.1℃、50m層では-1.9～-1.3℃となっています。北緯43度30分線では、累年平均に比べ、石狩湾湾口部の表面で-0.9℃、50m層で+0.3℃、積丹半島北西沖定点の100m層で-1.7℃、50m層以浅で-1.1～-1.0℃になっています。北緯42度30分線では、累年平均に比べ、瀬棚沖の最も岸寄りの定点の200m層で-1.3℃ですが、100m層で-0.7℃、50m層で+0.6℃、表面で+0.8℃となっています。松前西方で最も岸寄りの定点では、累年平均に比べ、100m層で-1.7℃、50m層で-0.9℃、表面で+0.8℃となっています。

余市における5月中旬以降7月上旬までの沿岸水温（旬平均）は、平年値に比べ、5月中旬の+0.8℃（「やや高い」）から7月上旬の0.0℃（「平年並み」）までゆるやかに変化しています。

【道東太平洋海域】

釧路南東沖の大きな暖水塊は、前回（4月）以降、北東側のロシア200カイリ内に移動したため、この暖水塊の一部（たとえば200m層5℃以上）が根室半島南東沖で観測されています。この暖水塊は前回と同様に岸に近いところにあるため、道東沿岸海域に来る親潮（たとえば100m層水温では2℃以下の範囲）は、根室半島に沿って北東方向からくるものと、暖水塊の南側を回って南東方向からくるものがあるようです。これらは、襟裳岬沖に達してから、ほぼ東経143度30分上を南下して三陸沖へ流れているようです。また、北緯41度以南の海域に黒潮系の暖水が入り込んできました。

水温について見ると、暖水塊の周辺の広い海域で、50m・100m層では1～2℃台になっ

ています。道東沿岸の50m層の最も岸寄りの水温は、累年平均に比べ、 $+0.1\sim+0.5^{\circ}\text{C}$ となっていて、累年平均からの評価から見て「累年平均並」の状態にあります。

【道南太平洋海域】

道南太平洋海域では、50m層以深で前回（4月）と同様に水温 5°C 以下の親潮に広く占められています。100m層では襟裳岬から日高沿岸に沿って水温 3°C 以下の親潮が東経142度あたりまで達しています。一方、津軽海峡から道南太平洋海域に流入する津軽暖流（たとえば100m層では水温 8°C 以上）は、前回同様、青森県尻屋崎からすぐ岸沿いに三陸方面へ南下しています(*2)。

恵山岬以北の海域の水温について見ると、累年平均に比べ、白老南方観測線では各層 $-1.0\sim+0.5^{\circ}\text{C}$ の範囲内にあり、浦河南西観測線では各層 $-4\sim 0^{\circ}\text{C}$ の範囲内にあります。浦河南西観測線で沿岸に最も近い定点では、累年平均に比べ、表面では $+0.2^{\circ}\text{C}$ で累年平均からの評価から見て「累年平均並」ですが、50m層では -1.9°C で「かなり低い」状態にあります。

【オホーツク海海域】

50m層水温を見ると、 6°C 以上の範囲が宗谷海峡から知床岬先端まで延びていて、宗谷暖流が順調に流れていることがわかります。冷水帯については、宗谷海峡から紋別沖あたりまで形成されているようです。

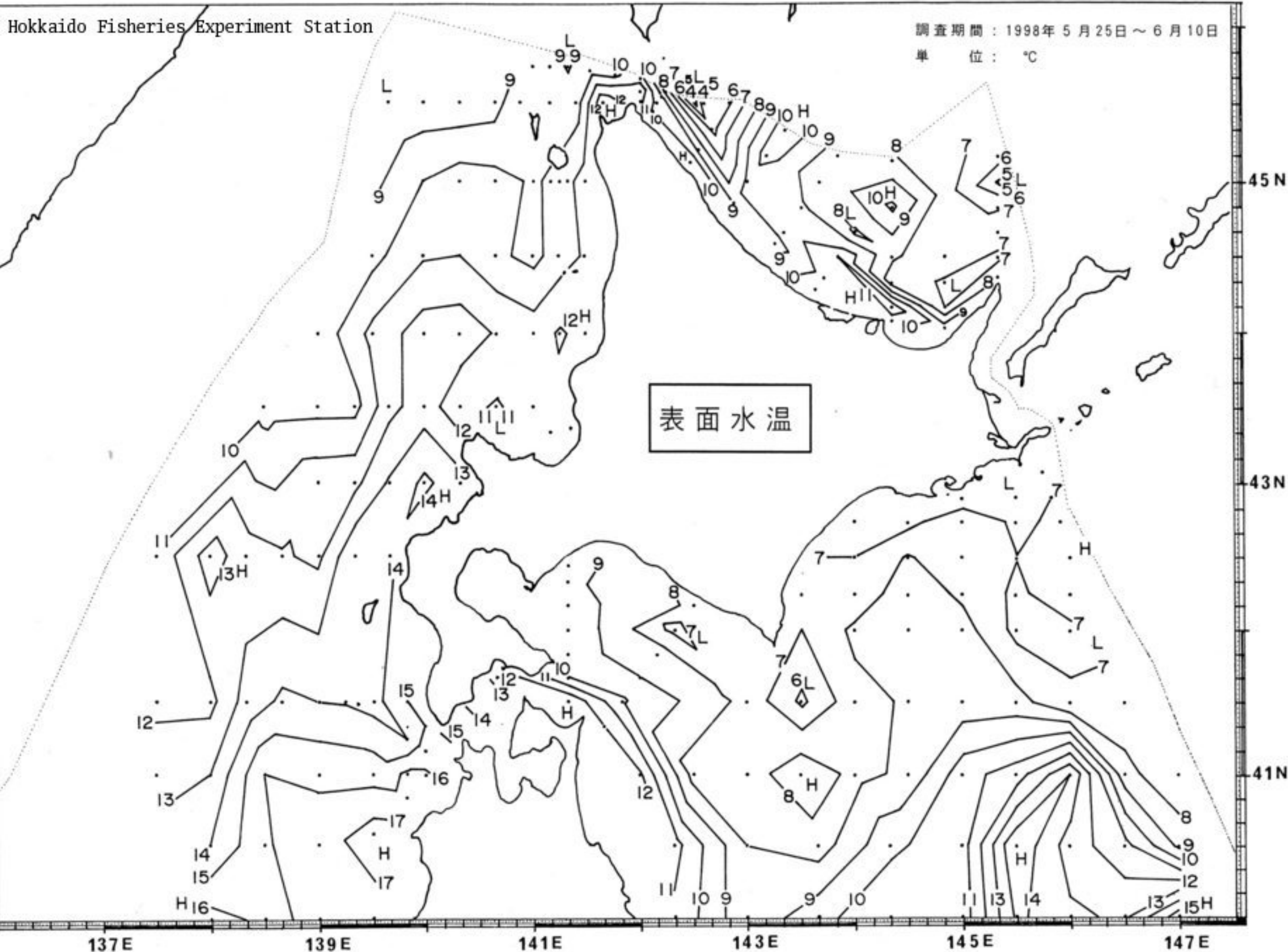
水温について見ると、累年平均に比べ、最も岸寄りの50m層水温は、浜頓別沖では -0.9°C 、紋別沖では $+0.6^{\circ}\text{C}$ 、網走沖で -2.5°C 、知床岬沖で $+1.7^{\circ}\text{C}$ と地域による差がある程度大きくなっています。

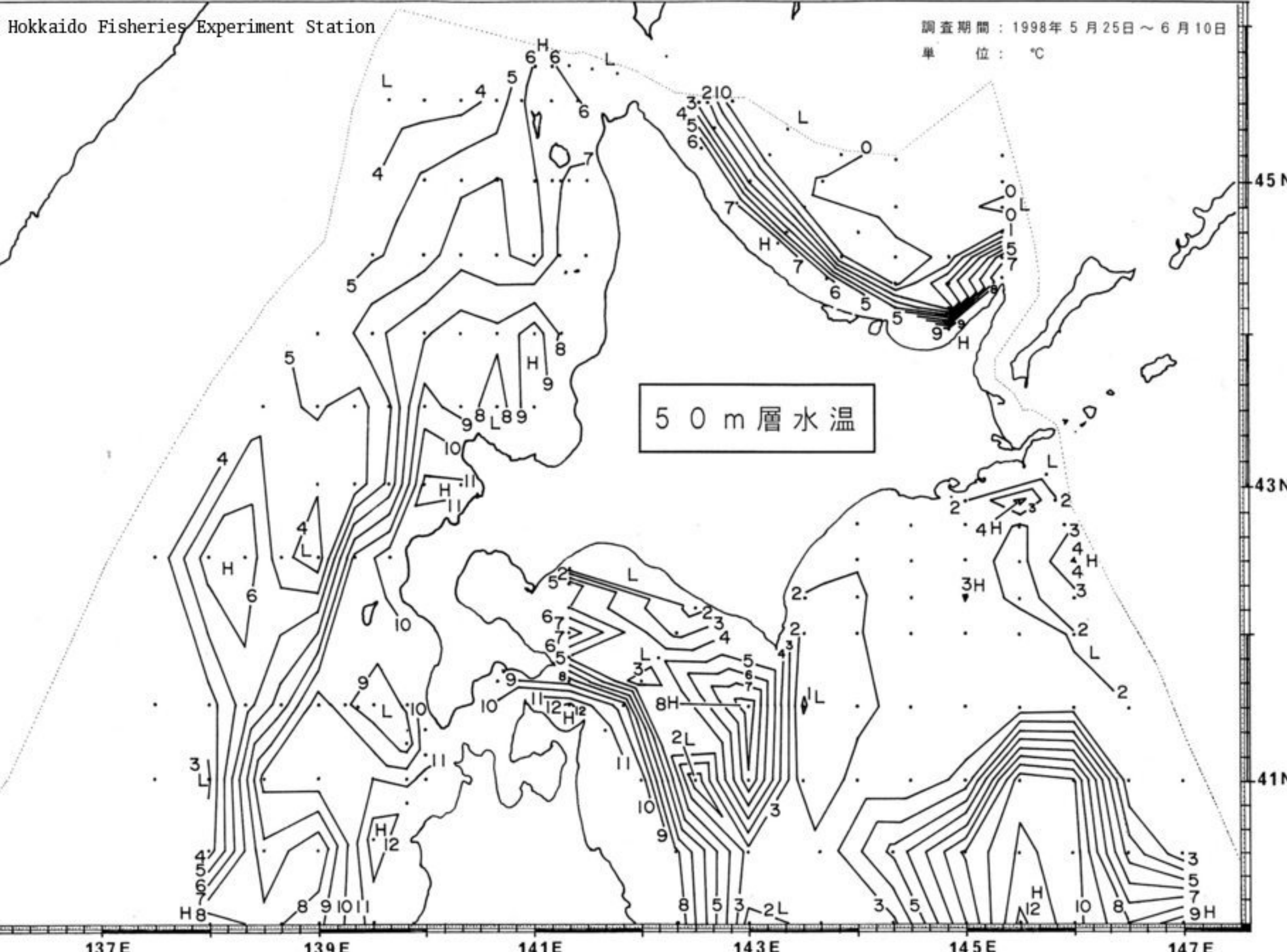
| | 資 料 | 〔観測期間〕 |
|---------------|------------|---------------------------|
| 稚内・中央水試 (北洋丸) | 平成10年6月1日 | ～同6月3日 (道北日本海海域・オホーツク海海域) |
| 稚内・網走水試 (北洋丸) | 平成10年6月8日 | ～同6月10日 (オホーツク海海域) |
| 釧路水試 (北辰丸) | 平成10年5月27日 | ～同6月2日 (道東太平洋海域) |
| 函館水試 (金星丸) | 平成10年5月26日 | ～同5月28日 (道南太平洋海域) |
| 函館水試 (金星丸) | 平成10年6月1日 | ～同6月9日 (東北日本海海域) |
| 中央水試 (おやしお丸) | 平成10年5月25日 | ～同5月28日 (道北日本海海域) |
| 中央水試 (おやしお丸) | 平成10年6月1日 | ～同6月3日 (道西日本海海域) |
| 中央水試 (おやしお丸) | 平成10年6月9日 | ～同6月9日 (道西日本海海域) |

*1: 平成元(1989)年～平成9(1997)年までの平均値を使用しました。

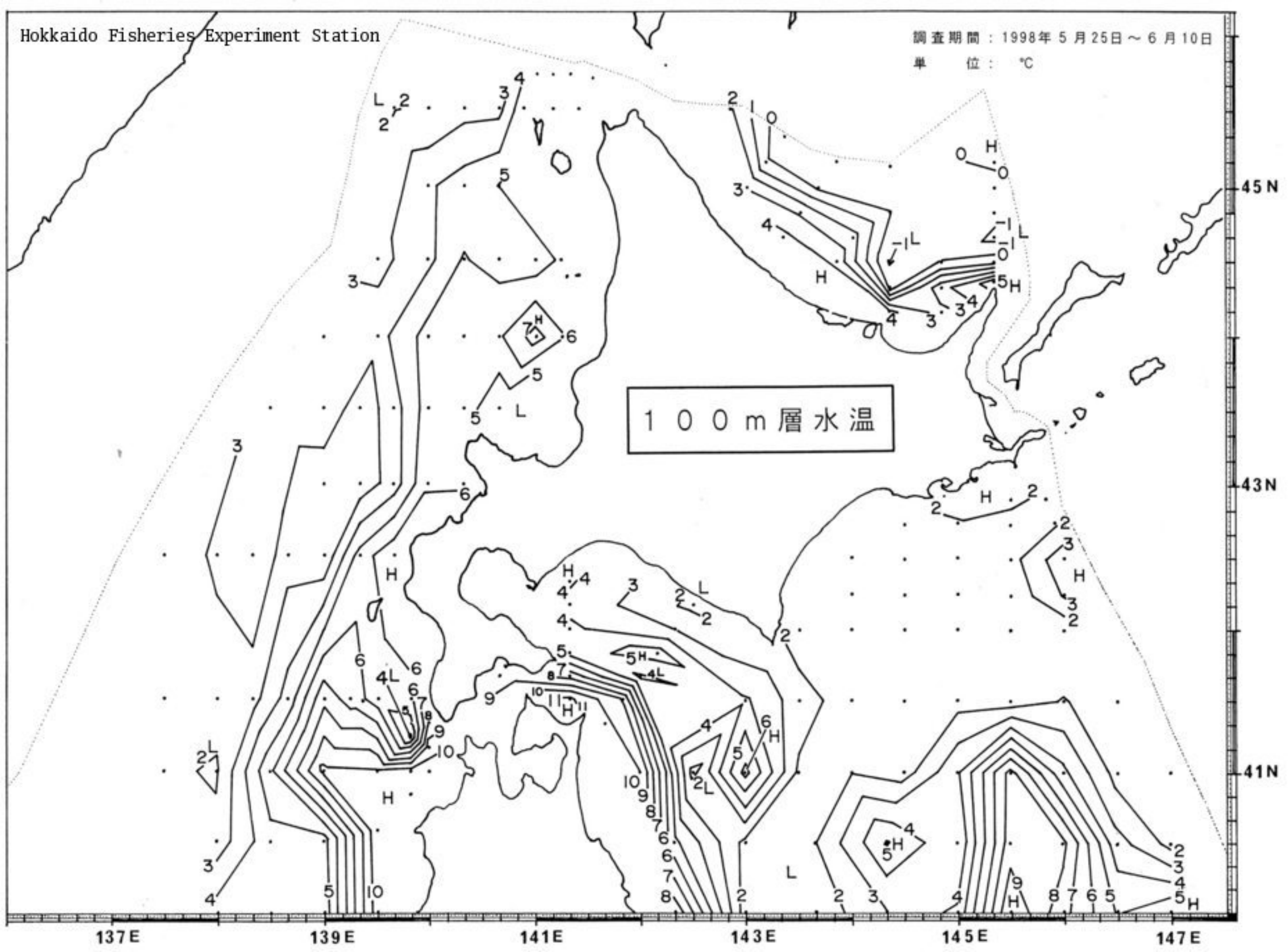
*2: 津軽暖流が青森県尻屋崎からすぐ岸沿いに三陸方面へ南下している状態を、津軽暖流の「沿岸モード」と呼んでいます。

表面水温





100m層水温



200m層水温

